

平成 30 年度 「スラブ・ユーラシア地域（旧ソ連・東欧）を中心とした総合的研究」に関わる
「共同利用型」の個人による研究 研究報告書

平成 31 年 4 月 1 日現在

研究課題名	1950 年代のシベリア農村の社会・経済的変動に関する研究	
申請者	氏名	所属機関・職
	野部 公一	専修大学経済学部国際経済学科・教授

研究成果の概要

本研究では、1950 年代のシベリア農村に未曾有の社会・経済的変動をもたらしたフルシチョフの処女地開拓を、当時刊行された北大図書館所蔵の雑誌資料、さらにはスラブ・ユーラシア研究所図書室所蔵の РГАНИ マイクロ資料を利用して、再検討を加えた。

その結果、1962 年刊行のフルシチョフ著作集第 1 巻所蔵の 1954 年 6 月のソ連共産党中央委員会総会での演説は、その文言の多くが削除、改訂されていることを明らかにした。その中の処女地開拓に関する削除された発言では、純休閒を含む輪作の導入が予定されていたことが明らかにされている。この発言は、フルシチョフが開始した処女地開拓は農学上の常識を無視した「投機的な」賭であるという従来の通説を真っ向から否定するものとなっている。ただし、1959 年以降になると、フルシチョフは、純休閒に関する自らの評価を一変させ、1962 年にはその取りつぶし（＝作付け休閒への転換）のために奔走することになる。

こうした 1962 年の現実には、まさに同じ年に刊行が開始された著作集からの過去の発言の削除・改訂をもたらしたとも考えられる。そして、この発言の削除・改訂により、処女地開拓は「投機的な」賭であるという見解が固定化されていくのである。

主な発表論文等（雑誌論文、学会発表、図書 等）

「消えたフルシチョフ発言：背景と帰結—1954 年 6 月ソ連共産党中央委員会総会速記録を材料にして—」『専修経済学論集』第 131 号(2018. 12)謝辞有

当該研究活動を基に応募中の研究プロジェクト（科研費等）

科研費への応募を準備中。

※枠を調整することは構いませんが、ページは追加しないでください。